



報道発表資料

2004年7月12日
インフォテリア株式会社

インフォテリアの「ASTERIA」が企業財務情報標準「XBRL」に対応 ～数々の機能強化を実現した最新版 ASTERIA 3 SP2 を出荷開始～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎）は、本日、ビジネス・インテグレーション・プラットフォーム「ASTERIA 3」の最新版である「ASTERIA 3 SP2 (Service Pack 2)」の出荷を開始し、この製品において企業財務会計データの国際的XML標準であるXBRL (eXtensible Business Reporting Language)に対応したことをはじめ、数々の機能強化を行ったことを発表しました。

XBRLとは、企業の貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などといった財務諸表をXMLで記述するための世界的な標準仕様です。企業財務情報は、企業活動の実態を表す極めて重要な情報であり、決算による投資家への情報開示のみならず、納税や取引先の信用リスク分析、グループ会社の業績評価など、企業経営のあらゆる局面で利用されます。国内においてもXBRLは、東京証券取引所への決算短信の提出や、国税庁への納税申告などにおいて既に使用されており、今後多くの企業がXBRLによる財務情報の開示、流通を行っていくことと予想されています。

ASTERIA 3 SP2のXBRL対応機能では、ASTERIAで扱うデータを容易にXBRL形式に変換してXBRLデータを発信できます。さらに、XBRLデータの取得と加工、他のシステムへの関連付け、データベースへの保管といったXBRLデータを受け取って活用する側の機能も豊富に搭載しています。

また、ASTERIA 3 SP2ではXBRL対応のほか、お客様より要望の高かった下記のような機能を新たに追加し、企業システムをつなぐ様々なニーズに対応します。

- ・ メインフレームアダプタ(3270/6680)
- ・ EDIFACTアダプタ
- ・ ファイル高速マッチング機能
- ・ ファイル高速ソート機能

- ・ ファイルSQL操作機能
- ・ ファイル直接操作機能
- ・ クライアント開発用軽量版Java API

インフォテリアは、ASTERIA 3の機能強化によって、今後ともシステム連携による企業競争力の強化に貢献してまいります。

ASTERIA について

ASTERIA は、国内で100社以上の導入実績を持つビジネス・インテグレーション・プラットフォームです。プログラミング不要の優れた設計環境により、社内外のビジネス・ネットワークを柔軟につなぎ、BtoBやEAIなどさまざまなレベルのデータ連携を可能にします。最新版の「ASTERIA 3」では、BPM(ビジネス・プロセス・マネジメント)を支援するシナリオ機能をはじめとする新機能が提供され、データ変換・集配信からより高度なビジネス・ロジック開発まで、幅広いユーザーニーズに対応します。 <http://www.infoteria.com/jp/product/asteria/>

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、XMLを中心とした先進の技術を、リアルワールドで適用できるパッケージソフトウェアとして提供する会社です。インターネット基盤データ技術「XML」を活用するためのコンポーネント製品や、企業内外のさまざまなデータ変換・システム連携を容易に実現するビジネス・インテグレーション・プラットフォーム「ASTERIA (アステリア)」を提供しています。 <http://www.infoteria.com/>

お問合せ先

広報担当：大橋 みどり

E-mail. press@infoteria.co.jp

TEL. 03-5718-1660, FAX.03-5718-1261

(参考資料)

ASTERIA 3 SP2 ファクトシート

製品名称	ASTERIA 3 SP2 (アステリア スリー エスピーツー)	
対応 OS	Server*1	Windows NT, Windows 2000, Windows 2003 Solaris, HP-UX, AIX, Linux
	Designer*1	Windows 2000, Windows XP
対応プロトコル	HTTP, SMTP, POP3, IMAP, FTP, LDAP*2, SOAP (Web サービス)	
対応ファイル形式	XML, CSV, 固定長テキスト, MIME, Base64, HTML, JPEG, PNG EDIFACT*2, XBRL*2	
対応文字コード	シフト JIS, ISO-2022-JP, EUC-JP, UTF-8, UTF-16, EDCDIC,	
対応 RDB*1	Oracle, DB2, Sybase, SQL Server, Access, PostgreSQL	
対応 XMLDB*1	Tamino, eXcelon, Neocore,	
対応アプリケーション*1	Lotus Notes*2, SAP R/3*3, IBM MQ, 全銀 TCPIP*2, ホスト(3270/6680)*4	
セキュリティ	S/MIME (暗号化, 復号化, 電子署名, 署名の確認), SSL (PKI 認証), ダイジェスト(SHA-1)の生成, アカウント認証	
入力系コンポーネント	Excel コンポーネント*2 (Excel のファイルからデータを抽出) Web マクロプレイヤー (Web サイトの自動巡回とデータの抽出)	
出力系コンポーネント	Excel コンポーネント*2 (Excel のファイルを自動作成) PDF コンポーネント (PDF を自動生成, PDF の合成) Velocity コンポーネント (HTML などを動的に生成)	
制御系コンポーネント	開始, 終了, ブレーク, ストリーム型変換, 分岐, ループ回数設定, 排他制御, ログ出力, ストリーム変数設定, ファイル操作, データチェック, 外部プログラム起 動, Java クラスの実行, サブフローの実行	
変換コンポーネント	MIME 変換, XSLT 変換, XPath によるデータの取得・生成, XML マージ処理	
BtoB コンポーネント*3	RosettaNet (RNIF 1.1/2.0 対応), Ariba, ebXML (ebXML アジアにて Level 3 認定取得), FDXS	
スケジューリング	タイマーによる実行, 指定時間のスリープ, 指定日時に実行, 一定間隔での実行, 定期スケジュール実行	
マッピング関数	66 種 (文字列関数 19 種, 数値関数 11 種, 日付関数 13 種, 変換関数 12 種, 制御関数 4 種, バイナリ処理関数 7 種)	
シナリオ機能*3(BPM 支援)	複数のフローの状態遷移の制御, 長い期間にわたるトランザクションを管理, ルールベース	
仕様書作成機能	作成したフローを HTML として仕様書化して出力する機能を装備。	
フローの起動方法	HTTP リクエスト, SOAP リクエスト, スケジュール, ポーリング, Java API, バッチ 呼び出し	
運用管理	Web ベース管理, ログ, スケジューラ, モニタリング, サービス自動復旧, 異常通知メール	
価格	Server	320 万円/CPU
	Designer	80 万円/本

*1 詳細なバージョンについては最新情報をお問い合わせください。

*2 Standard Edition ではオプション(別価格)となります。(Enterprise Edition では標準搭載)

*3 Enterprise Edition の専用標準機能です。 *4 Enterprise Edition のオプション(別価格)です。